

電気工事について



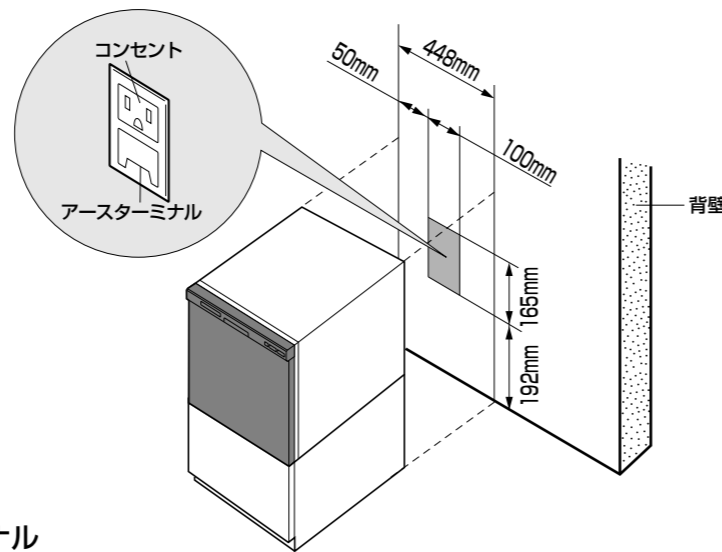
- 工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。
- 電気工事、アース工事は電気工事士の有資格者が行ってください。
- 電源回路は100V、15A以上の専用回路が必要です。

警告

定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水管工事部分を避けた図の位置に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線します。
- コンセントは定格表示125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。（コンセントは壁面に必ず固定します。）
- アース工事を必ず行ってください。（アースは法令上必要です。）



漏電しゃ断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

漏電しゃ断器
住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

(例) 品番 (パナソニック電工) BJS 203
定格電流20A、感度電流30mA
(AC100-200V両用)

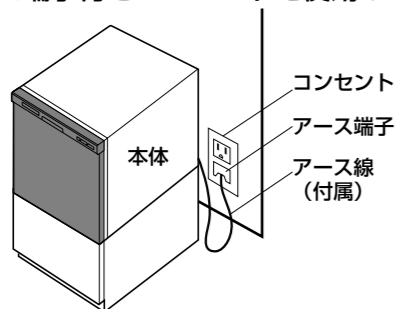
既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

※尚、主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

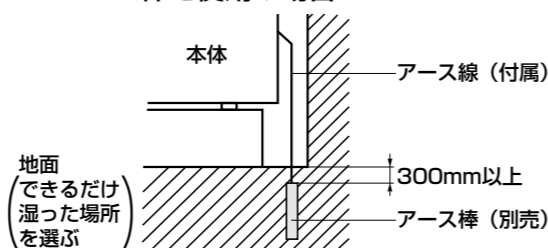
アース(接地)のしかた

- 感電事故防止のため、必ずアースの取り付けをしてください。
 - 水気や湿気の多い所および屋外に設置する場合は、電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。（法令で規定されています。）なお、水気のある場所では、このほかに必ず漏電しゃ断器を取り付けてください。
 - ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。（法令で禁止されています。）
 - アース端子付きコンセントを利用される場合は、接地抵抗値（100Ω以下）をご確認ください。
 - 設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アース取り付けを行ってください。
- ※ご不明な点は販売店または電気工事店にご相談ください。

- アース端子付きコンセントを使用の場合



- アース棒を使用の場合



給・排水工事



- 本機が使用できる水道水圧は0.03~1MPa {0.3~10kgf/cm²} の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので0.6MPa {6kgf/cm²} を超える場合は減圧弁を取り付けてください。
- 本機は(財)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)」に適合するとの証明を受けています。このため、給水装置への接合に際し逆止弁などの設置は必要ありません。

各市町村の条例などにより逆止弁を取り付ける場合で、本機の配管の近傍にシングルレバー水栓がある場合は、以下の対応を実施してください。

- シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。
 - 本機の配管に減圧弁を取り付ける。
- (水栓の急閉時のウォーターハンマー現象により逆止弁の下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧が) かかり、本機の故障や水もれの原因となるためです。
- 本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めを正確にしてください。
 - 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用して、断熱材を巻いてください。(給湯の場合は必ず耐熱配管にします。)
 - 排水横枝管に至るまでの接続部分(チーズ)も耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。
 - 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
 - 給・排水配管の端面はバリのないよう処理し、かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に除去してください。
 - アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴムタイプ)を必ず取り付けてください。(止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行に)

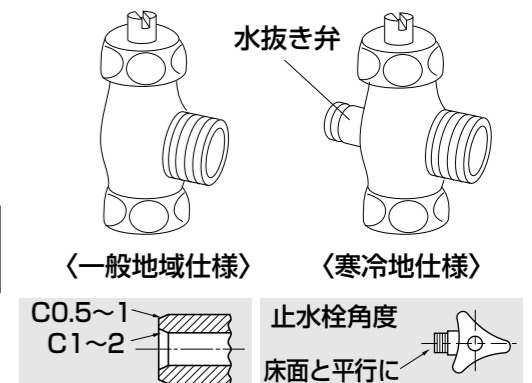
※冬季長期間留守し、凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き弁を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

- 排水管HT20の端面内周に、面取り(C1~2)を施してください。外径側は面取り(C0.5~1)をつけるとホースの挿入が容易になります。

注意

高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水もれの原因になります。



お願い

元付け型の浄水器に接続しない

元付け型の浄水器に接続すると、残留塩素濃度が0.1ppm以下(水道法基準は0.1ppm以上と規定されている)となり屋内に給水される水が細菌などに汚染される(細菌が繁殖)おそれがあります。

給湯機について

- 給水接続か給湯接続かお客様に確認した上で施工願います。(給湯接続された場合、運転時間にメリットがあります。)
- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機などで、下表の機器に接続してください。
- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。本機へ給水されないおそれがあります。

RS5 タイプ	出湯温度が70℃以下の機器に接続してください。 ※電気温水器には別売のミキシングバルブの接続をおすすめします。 (例：パナソニック・システム部材開発センター扱い。AD-MB905Aなど)
VS5 MS5 タイプ	出湯温度が70℃~45℃の範囲で温度調節可能な機器に接続してください。

注意

元止め式湯沸器には接続しない

湯沸器からの水もれのおそれがあります。

禁止